

令和5年度

事業計画・組織継承が柱 第27回理事会・第18回評議員会で承認

令和5年3月15日
第867号

九段会館テラスで初の理事会=2月21日、九段会館本会議室で

日本遺族会は、2月21日、第27回理事会、翌22日、第18回評議員会を九段会館テラスで開催した。昨秋以来、常務理事会等で議論が重ねられていた「戦後80年に向けた組織継承3ヵ年計画」、青年部育成・拡大策で初めての開催となつた。

冒頭の挨拶に立った水落会長は、令和5年度活動方針と事業計画の柱は、緊密にして最大の懸案である組織の継承だと述べ、「戦後80年に向けた組織継承3ヵ年計画」、青年部育成・拡大策への理解を求めた。

水落会長 叙勲受章祝賀会を開催

令和4年秋の叙勲において旭日大綬章を受章した水澤敏栄本会会長の叙勲祝賀会が、9月21日九段会館テラス真珠の間で開催された。会場には岸田文雄内閣総理大臣をはじめ、7閣僚が駆けつけ、文科副大臣時代、五輪担当として人脉を培ったスポーツ関係者、支援団体に加え、全国から遺族会役員、友人等280人余りが参集した盛大な祝宴となつた。

叙勲祝賀会は、水落
会長のたつての希望で九
段会館テラスでの開催と
なった。廃業から10年余
り、遺族会を思う多くの

関係者の尽力により九段会館無償貸与法が改正され、遺族の殿堂九段会館が「九段会館テラス」として新装されたお披露目を兼ねたいとの意向だつ

遺児・付添青年部の参加者募集
慰靈友好親善事業

日本遺族会が厚生労働省から補助を受けて実施している「戦没者遺児」による慰靈友好親善事業の令和5年度事業計画概要がこのほど固まった。この事業は、戦没者の遺児を対象とした事業で、亡き父等の戦没地を

日本遺族会への賛助会のお願い

日本遺族会では、戦没者の英靈顕彰や遺族援護、慰靈友好親睦会等、戦没者収集慰霊等各種事業の活動のために賛助金を募っております。

本基金の活動の趣旨にご理解を賜り平素ご賛同いたたきましたよろしく願ひ申しあげます。

●郵便振替
001-3000-0604009
●あさほ銀行
九段上店
普通預金
0000000000

團式及び渡航による説明会を行ふ。なお、集会場所まで及び解散場所からの交通機関は、自身の手配となる。また、移動に係る国内交通費及び帰国情況の宿泊代、渡航手続き手数料等、さらに日本国外への問わず、新型コロナウイルス感染症による影響を考慮する。

孫・ひ孫・甥・姪は国より3分の1(遺族の参加費からではなく実費の3分の1)の補助が受けられることがとなったので、遣り添えとともに多くの青年部が付添者として参加することを願う。

▼ 参加要項は次の通り。

▼ 时期及び地域 実施

▼ 参加費 10万円。

▼ 参加概要参照。

▼ 遺族登録の実施

▼ 申込方法 在住するところに限る

▼ 申込方法 各都道府県遺族会事務局へ。

▼ 参加者の資格審査に当たり、申込書の記入項目に当たる。

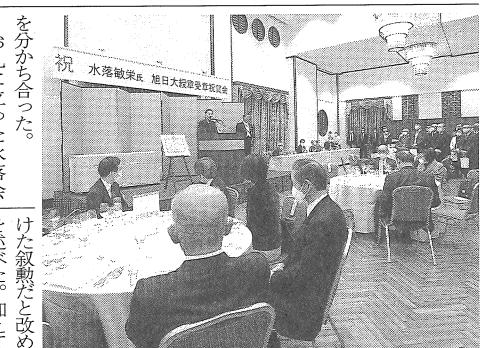
員会を開催 社会館テラスで

令和5年度戦没者遺児による 慰靈友好親善事業実施計画概要

	実施地域	実施時期	募集人員
1	旧ソ連	令和5年8月上旬	40人
2	旧満州	令和5年8月中旬	40人
3	西部ニューギニア	令和5年8月下旬	40人
4	トラック諸島	令和5年9月中旬	20人
5	パラオ諸島	令和5年9月中旬	20人
6	ボルネオ・マレー半島	令和5年9月下旬	40人
7	マリアナ諸島	令和5年10月中旬	40人
8	東部ニューギニア	令和5年10月下旬	42人
9	ビスマルク諸島	令和5年10月下旬	40人
10	インド	令和5年11月中旬	30人
11	フィリピン（1次）	令和5年11月下旬	120人
12	ソロモン諸島	令和5年12月上旬	40人
13	台湾・バシー海峡	令和6年1月中旬	40人
14	東部ニューギニア（特定地域）	令和6年2月上旬	36人
15	西部ニューギニア（特定地域）	令和6年2月中旬	36人
16	ミャンマー（特定地域）	令和6年2月下旬	36人
17	マーシャル・ギルバート諸島	令和6年3月上旬	40人
18	フィリピン（2次）	令和6年3月中旬	120人
19	中国	令和6年3月下旬	80人



岸田文雄内閣総理大臣が駆けつけ握手を交わす
=2月21日：九段会館テラス真珠の間で



人生の師である古賀名誉顧問から祝辞を受ける
＝2月21日：九段会館テラス真珠の間で



来場者へ挨拶をする水落会長と橋本参議院議員(発起人)
= 2月21日：九段会館テラス真珠の間で

